

## 新型インフルエンザに関する対応について

新型インフルエンザについては、国内でも感染事例が確認され、政府行動計画でいう第二段階（国内発生期）に移行したことが宣言されたところです。

については、参加者各位におかれては感染予防のため、下記の点に留意するなど、適切に対応くださるようお願いいたします。

### 記

- 1 熱のある方や体調の悪い方は参加を見合わせていただくことをご検討ください。
- 2 会場の入り口に消毒液を用意しておりますので、気になる方はお使い下さい。また、マスクも用意しておりますので、必要な方はシンポジウム事務局関係者にお申し付け下さい。ただし数に限りがあります。
- 3 会場では「咳エチケット（注）」の励行をお願いいたします。

#### （注）咳エチケット

風邪などで咳やくしゃみが出る時に、他人に感染させないためのエチケットである。感染者がウイルスを含んだ飛沫を発することで周囲の人に感染させないように、咳エチケットを行う。

咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を被い、他の人から顔をそむけ、できる限り1～2メートル以上離れる。ティッシュなどがない場合は、口を前腕部（袖口）で押さえて極力、飛沫が拡散しないようにする。前腕部で押さえるのは、他の場所に触れることが少ないため、接触感染の機会を低減することができるからである。呼吸器系分泌物（鼻汁・痰など）を含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てる。咳やくしゃみをする際に押さえた手や腕は、その後直ちに洗うべきであるが、接触感染の原因にならないよう、手を洗う前に不必要に周囲に触れないよう注意する。手を洗う場所がないことに備えて、携行できる速乾性擦式消毒用アルコール製剤あるいはパック入りのアルコール綿を用意しておくことが推奨される。咳をしている人にはマスクの着用を積極的に促す。マスクを適切に着用することによって、飛沫の拡散を防ぐことができる。